

木材販売のDX後押し

木材卸販売のフルタニランバー(金沢市)はソフト開発のアイパブリッシング(同)と連携し、木材販売の業務効率化を支援するシステムの販売を始めた。販売管理、在庫管理、物流管理、オンラインショップアプリの4つのクラウド型システムで構成する。自社で運用してきたシステムを外販、業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を後押しする。

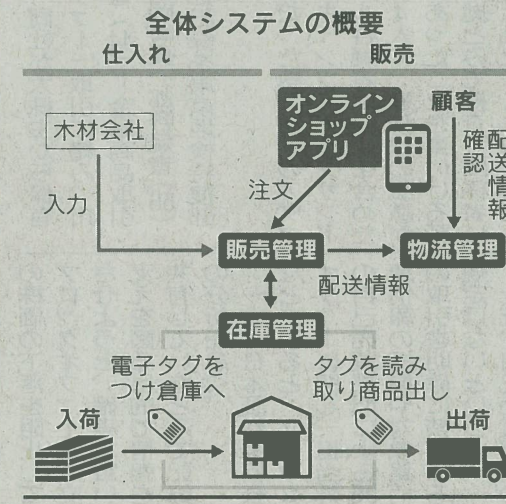
フルタニランバー

同システムは木材業務パッケージ「treeflow」。4つのシステムのうち販売管理は仕入れや在庫、売り上げなどの状況が分かり、ウェブブラウザを使うのが特徴。パソコンの性能に影響されるアプリ形式より読み込み速度が速いほか、在宅勤務や出先からも参照できる。



電子タグを読み取って在庫の状況を確認できる(金沢市のフルタニランバー)

安定供給へ在庫明確化



在庫管理は製品名などの情報を貼った電子タグを在庫に貼って管理する仕組み。顧客から注文が入ると、出荷担当者の携帯端末に注文と商品の位置情報を表示する。棚に自動送信する。顧客は卸しの期間短縮も可能だ。約5000アイテムを扱う同社の場合、2週間は半日で済むという。

金沢市長選 顔ぶれ多彩

知事選と同日投票

告示に先立つ3日には公開討論会が開かれ、5人が市の抱える課題や今後目指すべき方向について議論した。中内氏はコロナ対策を充実させると強調した。薬剤師として医療に携わってきた経験を活かす。保健所や市立病院の人員を強化する考えを示した。医療機関や介護現場の負担軽減につなげ、「全ての人が安心して暮らせる市政を目指す」と



5人の候補者は公開討論会に臨み、各自の政策を訴えた(3日、金沢市)

5新人が立候補 女性2人、30代も

永井氏は、ジェンダー平等など多様性を前提とした街づくりを主張したほか、限られた税収を分配するだけでは成長は望めない」と指摘した。民間の協力を得てファンドを立ち上げ、福祉や教育といったリターンを得づらいつい分野にも投資するといった。子育て支援や医療の充実を訴えたのは小間井氏。財源については「経済成長で10年間で市税200億円分を確保する。企業の成長を軸にしながら、宿泊税のように外部から稼ぐ。文化施設の料金見直しや、市役所の業務効率化によるコスト削減も見込む。村山氏は、副市長として約3年間実務にあたった実績をアピールした。コロナの新規感染者が相次ぐ現状を踏まえ、「自分なら就任後すぐに動ける」と強調した。アフターコロナに向け、市外の人材や若者の意見を取り入れて街づくりを進めるといふ。

北陸

森氏は、格差や貧困の解決、教育への投資を強調した。その上で「市民の課題意識や希望を市政に反映させる仕組みが必要」として、市長が直接住民と意見交換する機会や、住民が予算編成に直接参加できる制度の導入を掲げた。

金沢支局 0776-12321-4331
富山支局 0776-12321-3446
福井支局 0776-12321-3449

北陸電力より3%安く

地域新電力のなんとエナジー(富山県南砺市)が4月1日、サービスを開始する。基本料金と電力量料金を北陸電力よりも3%安くし、一般家庭と公共施設をあわせて初年度で1500件の契約獲得を目指す。再生可能エネルギー由来の電源開発も視野に入れ、エネルギーの地産地消を通じた地域経済の活性化を目指す。

ベスプラ(東京都渋谷区)



脳トレ・歩行で認知症予防

ベスプラ(東京・渋谷)は認知症予防のスマートフォン向けアプリを提供する。歩行、食事の管理と脳トレーニングが主な機能で、人工知能(AI)で利用者に適した無理のない目標を設定する。医療・介護費の増加に悩む自治体とも連携を進めている。

アプリにAI、食事管理

ベスプラの強み
国内外の認知症予防研究の分析力
人工知能(AI)のアプリへの有効活用
顧客の多様な要望をアプリに組み込む柔軟性



ベスプラの認知症予防アプリは、歩行ペースなどから利用者ごとに個別の目標をはき出す。1日最低16分利用してもらい、計算、パズルを他人との疑似対戦型にしたのは、国内外の研究成果を反映させた結果だ。成績をもとにAIが難易度も上げ、より高い予防効果につながる。食事管理は豆類、卵な